

令和7年における労働災害発生状況

令和7年11月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和7年 業種別労働災害発生状況 その1

令和7年11月末現在

北海道労働局

区分 業種別	令 和 7 年			令 和 6 年			対 前 年		業種割合	令 和 6 年 確 定 値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合 計	増 減 数	増減率	(%)	死 亡	休 業	合 計
全 産 業 合 計	45	6,121	6,166	43	6,778	6,821	-655	-9.6	100.0	48	8,585	8,633
製 造 業	6	910	916	5	926	931	-15	-1.6	14.9	7	1,114	1,121
食 料 品	1	430	431	1	484	485	-54	-11.1	7.0	2	578	580
木 材 ・ 家 具		81	81		86	86	-5	-5.8	1.3		104	104
紙 ・ 印 刷		17	17		15	15	2	13.3	0.3		17	17
窯 業 ・ 土 石	1	45	46		37	37	9	24.3	0.7		42	42
金 属 ・ 機 械	2	171	173	2	130	132	41	31.1	2.8	3	161	164
そ の 他	2	166	168	2	174	176	-8	-4.5	2.7	2	212	214
鉱業	鉱 山				2	2	-2	-100.0			2	2
	土 石 採 取 業		24		25	25	-1	-4.0	0.4		26	26
建 設 業	14	654	668	17	689	706	-38	-5.4	10.8	18	834	852
土 木 工 事 業	8	230	238	9	220	229	9	3.9	3.9	9	263	272
建 築 工 事 業	3	241	244	5	299	304	-60	-19.7	4.0	6	371	377
木 造 建 築 業	2	72	74	1	84	85	-11	-12.9	1.2	1	105	106
そ の 他	1	111	112	2	86	88	24	27.3	1.8	2	95	97
交 通 運 輸 事 業	1	225	226		291	291	-65	-22.3	3.7		372	372
陸上貨物運送事業	5	641	646	4	682	686	-40	-5.8	10.5	4	855	859
道路貨物運送	4	598	602	4	647	651	-49	-7.5	9.8	4	804	808
陸上貨物取扱	1	43	44		35	35	9	25.7	0.7		51	51
港 湾 運 送 業	1	16	17		18	18	-1	-5.6	0.3		19	19
林 業	5	59	64	3	65	68	-4	-5.9	1.0	4	75	79
水 産 業		89	89		79	79	10	12.7	1.4		106	106
商 業	5	901	906	4	922	926	-20	-2.2	14.7	3	1,174	1,177
清 掃 ・ と 畜 業	3	351	354		422	422	-68	-16.1	5.7		504	504
上記以外の事業	5	2,251	2,256	10	2,657	2,667	-411	-15.4	36.6	12	3,504	3,516

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。
※ 死亡災害及び休業災害の件数は、本年・昨年ともに把握した件数である。

令和7年 業種別労働災害発生状況 その2

令和7年11月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		80	80	2	112	114	-34	-29.8	1.3	2	143	145
畜産業		238	238	3	237	240	-2	-0.8	3.9	4	288	292
金融・広告業		47	47		33	33	14	42.4	0.8		45	45
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業	1	152	153		168	168	-15	-8.9	2.5		198	198
教育・研究業		63	63		60	60	3	5.0	1.0		74	74
保健衛生業		1,045	1,045	1	1,409	1,410	-365	-25.9	16.9	1	1,954	1,955
接客娯楽業		397	397	1	367	368	29	7.9	6.4	2	465	467
その他の事業	4	229	233	3	269	272	-39	-14.3	3.8	3	335	338
合計	5	2,251	2,256	10	2,657	2,667	-411	-15.4	36.6	12	3,504	3,516

「第三次産業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	901	906	4	922	926	-20	-2.2	14.7	3	1,174	1,177
うち 小売業	4	697	701	1	731	732	-31	-4.2	11.4	1	911	912
金融・広告業		47	47		33	33	14	42.4	0.8		45	45
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業	1	152	153		168	168	-15	-8.9	2.5		198	198
教育・研究業		63	63		60	60	3	5.0	1.0		74	74
保健・衛生業		1,045	1,045	1	1,409	1,410	-365	-25.9	16.9	1	1,954	1,955
うち 社会福祉施設		583	583	1	684	685	-102	-14.9	9.5	1	882	883
うち 医療保健業		448	448		712	712	-264	-37.1	7.3		1,057	1,057
接客・娯楽業		397	397	1	367	368	29	7.9	6.4	2	465	467
うち 飲食店		170	170		148	148	22	14.9	2.8		197	197
うち 旅館業		98	98		102	102	-4	-3.9	1.6		128	128
うち ゴルフ場		44	44	1	50	51	-7	-13.7	0.7	1	55	56
清掃・と畜業	3	351	354		422	422	-68	-16.1	5.7		504	504
その他の事業	4	229	233	3	269	272	-39	-14.3	3.8	3	335	338
うち 警備業	1	52	53		67	67	-14	-20.9	0.9		80	80
合計	13	3,185	3,198	9	3,652	3,661	-463	-12.6	51.9	9	4,751	4,760

令和7年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和7年11月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	45 (10)	100.0	43 (6)	100.0	2	4.7	-2	-5.4
製 造 業	6 ()	13.3	5 ()	11.1	1	20.0	1	20.0
鉱 業	()		()			—		—
建 設 業	14 (1)	31.1	17 (1)	37.8	-3	—	-3	-18.8
交 通 運 輸 事 業	1 (1)	2.2	()		1	—		—
陸上貨物運送事業	5 (4)	11.1	4 (2)	8.9	1	25.0	-1	-50.0
港 湾 運 送 業	1 ()	2.2	()		1	—	1	—
林 業	5 ()	11.1	3 ()	6.7	2	66.7	2	66.7
そ の 他 の 事 業	13 (4)	28.9	14 (3)	31.1	-1	—	-2	-18.2

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和7年11月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
そ の 他 の 事 業	13 (4)	100.0	14 (3)	100.0	-1	—	-2	-18.2
小売業	4 (2)	30.8	1 ()	7.7	3	300.0	1	100.0
医療保健業	()		()			—		—
社会福祉施設	()		1 (1)	7.7	-1	—		—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	7.7	()		1	—	1	—
ビルメンテナンス業	2 ()	15.4	()		2	—	2	—
ゴルフ場の事業	()		1 ()	7.7	-1	—	-1	-100.0
警備業	1 ()	7.7	()		1	—	1	—
農業・畜産業	()		5 ()	38.5	-5	—	-5	-100.0
水産業	()		()			—		—
その他	5 (2)	38.5	6 (2)	46.2	-1	—	-1	-25.0

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況
令和7年11月末現在

北海道労働局

業種別		1号				3号		4号				5号				6-2号		7-2号		8-2号		13-2号		その他 の事業		合 計			
		製 造 業		うち木材木 製品製造業		建 設 業		道 路 貨 物 運 送 業		そ の 他 の 運 輸 業		陸 上 貨 物 取 扱 業		港 湾 運 送 業		林 業		水 産 業		小 売 業		社会福祉施設							
年別																													
平成25年		6				22		7		2				1		4		4		5		1		12		64			
平成26年		4				22		6		2						4		6		7		1		13		65			
平成27年		7				25		10		3		1		1		4				4				10		65			
平成28年		7				30		13		1						5		2		3		2		14		77			
平成29年		8				23		10		2						5		5		4		3		21		81			
平成30年		11		1		17		11								6				6		1		11		63			
令和元年		10				20		6		2						8		1		2				13		62			
令和2年		6		1		14		4		3		2				4		3		2				13		51			
令和3年		3		1		20		8		1						1		3		5				18		59			
令和4年		5				23		5		1						1		2		3		1		12		53			
令和5年		4				6		10		1						4		1		2				23		51			
区分 月別 年別		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計		当 月 分		累 計	
令和 6 年	1月					1	1	1	1							1	1							2	2	5	5		
	2月					2	3		1								1			1	1			1	3	4	9		
	3月	1	1			2	5		1								1				1			1	4	4	13		
	4月						5		1								1				1			2	6	2	15		
	5月		1			1	6		1								1				1			2	8	3	18		
	6月		1			2	8	1	2								1				1			2	10	5	23		
	7月	2	3				8		2								1				1				10	2	25		
	8月	1	4			2	10	1	3								1				1	1			10	5	30		
	9月		4			2	12		3								1				1		1	1	11	3	33		
	10月	1	5			2	14		3								1				1		1		11	3	36		
	11月		5			4	18	1	4								2	3			1		1		11	7	43		
	12月	2	7				18		4								1	4				1		1	2	13	5	48	
令和 7 年	1月	1	1			3	3	1	1							2	2			2	2			3	3	12	12		
	2月	1	2			2	5		1							1	3				2			2	5	6	18		
	3月		2				5	1	2							2	5				2			2	7	5	23		
	4月		2				5		2								5				2				7		23		
	5月		2			3	8		2								5				2				7	3	26		
	6月		2				8	1	3								5			1	3			1	8	3	29		
	7月	1	3			1	9		3								5			1	4				8	3	32		
	8月		3			2	11		3			1	1				5				4			1	9	4	36		
	9月	1	4			1	12		3				1	1	1	1	5				4				9	3	39		
	10月	1	5				12		3	1	1		1		1		5				4				9	2	41		
	11月	1	6			2	14	1	4		1		1		1		5				4				9	4	45		
	12月		6				14		4		1		1		1		5				4				9		45		
対前年 同期比	件数	1	1	±0	±0	-2	-4	±0	±0	±0	1	±0	1	±0	1	-2	2	±0	±0	±0	3	±0	-1	±0	-2	-3	2		
	百分率	100.0	20.0	±0	±0	-50.0	-22.2	±0	±0	±0	100.0	±0	100.0	±0	100.0	-	66.7	±0	±0	±0	300.0	±0	-	±0	-18.2	-42.9	4.7		

※ 本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。

※ 本年及び昨年は速報値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
令和7年11月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1	3	4	5	6-2	7-2	8-2	13-2	その他 の事業 計	起因物番号																			11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99
	業種		製	建	道路 の貨物 運送	その他 の運輸	陸上 貨物 取扱	港	湾	運送		林	水産	小売	会社 福祉 施設	その他 の事業	起因物	原	動力 機	動力 機	木材 加工 機械	建設 用等 機械	金属 加工 用機 械	一般 動力 機械	車両 系木材 伐出機 械等	食品 加工機 械	動力 クレー ン等	動力 搬	乗	力	容	学	容	接	・	窯	設	備	人	力	機械 工具 等	用	その他 の装置 設備	仮設物・ 建築物・ 構築物等	床面・ 通路	危険物・ 有害物等	材料	荷	然	環境 等	その他 の起因 物	原因 なし	分類 不能					
1	墜落、転落		2	8							3	13								2						1	2	1								3		4																				
20		2m以上からの	2	4							1	7								1							1	1									4																					
21		2m未満からの		4								2	6							1						1	1								3																							
2	転倒			1								1							1																																							
22		滑り																																																								
23		つまづき																																																								
24		踏み外し																																																								
25		もつれ等																																																								
26	その他の転倒			1								1							1																																							
3	激突																																																									
4	飛来、落下					1					1	2																2																														
5	崩壊、倒壊			1								1																										1																				
6	激突され		1					5				6											1														1							4														
7	はさまれ、巻き込まれ		2	1			1			1		3	8			1			1			2				1	2	1																														
8	切れ、こすれ																																																									
9	踏抜き																																																									
10	おぼれ		1									1																																	1													
11	高温、低温の物との接触			1								1																																	1													
12	有害物等との接触			1								1																																	1													
13	感電																																																									
14	爆発																																																									
15	破裂																																																									
16	火災																																																									
17	交通事故(道路)			1	4	1				2		2	10						3								2	5																														
18	交通事故(その他)																																																									
19	動作の反動・無理な動作																																																									
27		腰痛																																																								
28		転倒もどき																																																								
29		その他の動作の反動、無理な動作																																																								
90	その他									1			1																																1													
99	分類不能																																																									
合 計			6	14	4	1	1	1	5		4		9	45			1		7			2	1			2	8	7							3	1	5						8															

令和7年 署別・業種別死亡災害発生状況
令和7年11月末現在

北海道労働局

業種別 署別	1号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	8-2号	13-2号	その 他 事 業	合 計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	建 設 業	道 路 貨 物 運 送 業	そ の 他 の 運 輸 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	港湾運送業	林 業	水 産 業	小 売 業	社会福祉施 設		
札幌中央			1									2	3
札幌東			3	2						1		1	7
函 館	1							3		1		1	6
小 樽													
岩 見 沢												1	1
旭 川												2	2
帯 広	1		4		1			1				1	8
滝 川			1										1
北 見			1	1				1					3
室 蘭	1									1		1	3
釧 路													
名 寄			1										1
留 萌													
稚 内			1							1			2
浦 河	2												2
苫小牧	1			1		1	1						4
倶知安 (支)			2										2
計	6		14	4	1	1	1	5		4		9	45

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和7年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和7年11月末現在

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業					交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商 業			社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率
		計	食料品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業	その他建設業		計	道路貨物運送業	陸上貨物取扱業				計	小売業	その他商業					
札幌中央	1,221	109	33	6	2	1	27	40		1	95	15	55		25	65	117	105	12	1			198	143	55	170	47	106	312	-9.8%
	1,101	82	32	7	1	1	25	16		2	83	13	45	5	20	64	92	87	5				210	152	58	127	49	95	297	
札幌東	1,474	172	100	4	2	3	29	34			134	32	79	1	22	116	216	202	14				258	212	46	137	27	105	309	-14.4%
	1,262	157	85	4	3	2	35	28		1	129	41	47	17	24	58	185	153	32				236	184	52	141	32	87	236	
函館	633	104	73	6		7	10	8		3	58	23	33		2	7	49	47	2	1	6	10	62	53	9	49	6	24	254	-17.9%
	520	95	53	8		3	22	9		1	68	34	17	13	4	11	39	39		1	13	7	66	59	7	34	18	22	145	
小樽	263	48	29	2			2	15		3	19	8	10		1	32	19	19		1	1	2	21	21		35	2	21	59	-25.9%
	195	45	27	2			5	11		1	14	7	1	4	2	14	21	21		1	1	3	20	17	3	21	4	8	42	
岩見沢	181	37	16		1	9	1	10	1	1	23	14	8		1	6	21	21			2		26	26		21	3	8	32	-7.2%
	168	40	15			9	9	7		2	29	12	7	5	5	3	10	10			1		17	15	2	8	4	6	48	
旭川	545	70	19	16		4	12	19		4	52	17	32		3	12	52	52			8		69	54	15	76	19	39	144	-6.1%
	512	75	32	11	1	3	10	18		3	64	33	23	6	2	9	58	58			5	1	75	53	22	72	17	31	102	
帯広	461	72	45	12		1	6	8		5	53	21	22		10	4	46	46		1	16		63	51	12	28	12	21	140	-8.2%
	423	72	35	6			14	17		5	50	15	15	2	18	7	42	40	2	2	10	5	54	40	14	35	9	17	115	
滝川	139	25	10	3	1	2	4	5	1		29	13	13		3	3	10	10			3		18	13	5	10	3	11	26	-10.1%
	125	28	6	2	2	3	7	8		1	20	11	4		5	3	10	10			2		18	17	1	16	3	7	17	
北見	305	47	25	10		1	5	6		1	39	20	16		3	6	20	20			9	16	41	29	12	31	2	12	81	-4.9%
	290	61	31	15		5	6	4			31	14	11	2	4	8	24	24			10	9	47	34	13	20	6	16	58	
室蘭	185	19	6			2	8	3			22	4	17		1	4	18	18		2	3	1	38	32	6	29	1	17	31	13.5%
	210	23	6	1		1	10	5		1	24	6	12	1	5	4	16	16			2	2	25	22	3	16	8	21	68	
釧路	385	79	49	11			6	13		2	56	20	34		2	9	37	37		3	6	19	43	35	8	27	6	15	83	-10.9%
	343	71	39	6		2	8	16		1	37	11	19	4	3	8	41	41		5	9	16	39	33	6	35	2	13	66	
名寄	102	22	13	5			2	2			19	10	8		1	1	6	6			4	6	5	3	2	5	2	3	29	19.6%
	122	20	7	10		1		2		2	19	9	6	2	2	1	12	11	1		6	14	13	11	2	5	2	4	24	
留萌	47	8	5	1		1		1			9	5	2		2	1	2	2			2	2	1	1		11	1	2	8	-17.0%
	39	10	8	1				1			9	5	2	1	1		3	3				5	4	3	1	3			5	
稚内	89	12	9	2		1				1	17	6	8		3	1	5	5			1	11	9	5	4	15		5	12	-6.7%
	83	19	14			1	1	3		1	20	8	8	1	3	2	3	3				18	5	4	1	2		2	11	
浦河	158	8	5	1				2			7	3	3		1	2	7	6	1		4	10	3	3		2	1	1	113	-13.3%
	137	5	1	1		1		2		1	8	2	1	4	1		5	5				6	3	3		2	1	1	105	
苫小牧	508	83	33	6	4	5	20	15		3	54	9	38		7	20	58	52	6	9	1		56	45	11	24	14	28	158	1.0%
	513	99	28	7	5	14	21	24		1	42	9	21	2	10	30	79	75	4	8	4		59	48	11	40	11	22	118	
倶知安 (支)	125	16	15	1						1	20	9	10		1	2	3	3			2	2	15	6	9	15	2	4	43	-1.6%
	123	14	12					2		1	21	8	5	5	3	4	6	6			1	3	15	6	9	6	4	2	46	
合計	6,821	931	485	86	10	37	132	181	2	25	706	229	388	1	88	291	686	651	35	18	68	79	926	732	194	685	148	422	1,834	-9.6%
	6,166	916	431	81	12	46	173	173		24	668	238	244	74	112	226	646	602	44	17	64	89	906	701	205	583	170	354	1,503	
対前年比増減率	-9.6	-1.6	-11.1	-5.8	20.0	24.3	31.1	-4.4	-100.0	-4.0	-5.4	3.9	-37.1	7300.0	27.3	-22.3	-5.8	-7.5	25.7	-5.6	-5.9	12.7	-2.2	-4.2	5.7	-14.9	14.9	-16.1	-18.0	

※ 本統計は、「業種別労働災害発生状況」を管轄署別に集計したものであり、上段は前年、下段は当年である。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和7年11月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	1	3	4	5		6-2	7-2	8-2	13-2	その他の事業	起因物番号 起因物	11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99	
		製	建	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業			社会福祉施設	原動機	動力電動機	木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	食品加工用機械	力クレーン等	力運搬機	乗	力	力	力	学	接	・	気	人	力	用	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	床面・通路	危険物・有害物等	材料	荷	然
1	墜落、転落	98	202	166	15	3	5	5	10	81	33	272	890				21	1	7	2		9	186	16					4	234	12	291	30		4	18	48	3	3	1	
20	2m以上からの 2m未満からの	12	70	28	3		1	3	1	4	4	45	171				8					1	26	2						32		80	7			6	6	1	1	1	
21		86	132	138	12	3	4	2	9	77	29	227	719				13	1	7	2		8	160	14					4	202	12	211	23		4	12	42	2	2		
2	転倒	253	90	139	80	10	2	7	11	323	215	755	1885			1	6		1	2		3	17	30				1	22	35	14	45	1472		2	9	32	10	183		
22	滑り つまづき 踏み外し もつれ等 その他の転倒	115	46	86	54	3	1	4	7	178	109	366	969				2		1			2	7							3		8	938				7		1		
23		90	23	22	11	4	1	1			81	43	181	457								1	4	1			1		9	4	8	418		1	4		1	5			
24		13	6	9	2	1					16	8	28	83			1							2	1				2	2	19	55				1					
25		19	6	3	7						25	31	77	168										2					4	2	2		16			1	3	138			
26		16	9	19	6	2		2	4	23	24	103	208				4			2			4	26					18	19	6	10	45		1	5	23	6	39		
3	激突	43	19	43	8	5	1	4	4	20	24	103	274			1	7	1	6		1	2	36	14					27	31	29	43	40		4	5	14	2	11		
4	飛来、落下	44	53	25	1	4		9	3	26	9	48	222		1	2	5	3	12		2	4	9	1	1				10	42	13	14	2	1	44	40	14	2			
5	崩壊、倒壊	10	19	3		2		2	1	4		11	52					1					2						5	7	2	3			16	9	7				
6	激突され	38	36	27	7	4	2	15	10	21	13	132	305			3	11	1	8	1	3	12	26	15			2	35	18	5	8	2		10	16	109	7	13			
7	はさまれ、巻き込まれ	205	81	56	8	4	4	6	29	31	9	150	583	2	8	20	19	26	71	1	44	23	93	28	2	1		55	32	26	37	3		22	33	29	2	5			
8	切れ、こすれ	84	56	7	1	1	1	7	3	34	16	95	305		1	56		19	25		41		1					97	22	7	3			23	4	3	2	1			
9	踏抜き		2	1	1					2	2		8																2	1		1		3	1						
10	おぼれ	1	1									2	4																				1			3					
11	高温、低温の物との接触	28	10	3	1	1		2	3	17	2	47	114					3				1	1	1		3	3			14	16	1		9	4		54	3	1		
12	有害物等との接触	7	4	2					1	1	1	9	25														1			2	2			12	1		4	2	1		
13	感電											2	2														1				1										
14	爆発	1			1								2																			1		1							
15	破裂	1								1			2											2																	
16	火災	2		1								1	4										1									1		2							
17	交通事故(道路)	10	34	40	33					21	12	81	231				3					2	37	174						1			9		1		3		1		
18	交通事故(その他)		1		2			1				4	8										1	6					1												
19	動作の反動・無理な動作	89	51	89	30	10	2	6	10	109	175	294	865				3		2		1	1	21	12	2		1		22	40	11	44	141		13	145	39	33	334		
27	腰痛 転倒もどき その他の動作の反動、無理な動作	21	9	9	10	3		2		38	75	80	247										2	3	1				5	5	4	3	2		1	64	15	19	123		
28		23	19	23	7	1		1	1	18	19	60	172										3	1					2	6	2	16	101		2	3	2	2	32		
29		45	23	57	13	6	2	3	9	53	81	154	446				3		2		1	1	16	8	1		1		15	29	5	25	38		10	78	22	12	179		
90	その他	2	9		38				4	10	71	249	383																	2						21	341	15	4		
99	分類不能										1	1	2																								1			1	
合 計		916	668	602	226	44	17	64	89	701	583	2256	6166	2	10	83	75	52	135	6	92	56	431	297	8	1	4	5	4	278	482	140	490	1701	25	147	280	380	408	568	6

令和7年 製造業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	9時台	輸 送 用 機 械 等 製 造 業	50 人 以 上 99 人	墜 落、 転 落	乗 物 2 3 9	被災者は、船舶の試運転業務において、アンテナにワイヤーが引っ掛かっていたため、マストの垂直はしごを登り、マストの踊り場へ移動して引っ掛かっていたワイヤーを外したところ、踊り場付近のレーダーアンテナが突然回転し、4.8メートル下の甲板まで墜落したものの。
7	2	14時台	電 気・ ガ ス・ 水 道 業	10 人 以 上 29 人	墜 落、 転 落	仮 設 物、 建 築 物、 構 築 物 4 1 4	被災者は、同僚と2名で放水ダムの設備の点検作業に従事していた際、放水口制水門を開閉する巻き上げ機の取付け位置にある開口部を塞ぐ蓋板(重さ約30kg)の位置がずれていたため、2名で蓋の位置を調整しようとしたところ、誤って開口部から蓋板を落としてしまい、蓋板の重みに引っ張られた被災者が開口部から10m以上墜落したものの。
7	7	9時台	窯 業 土 石 製 品 製 造 業	30 人 以 上 49 人	は さ ま れ、 巻 き 込 ま れ	動 力 ク レ ー ン 等 2 1 1	被災者は、クレーンを使用して専用架台に立てかけられていた鋼板19枚のうち1枚を1点吊りでつり上げようとしたところ、鋼板19枚全てが被災者側に倒れ、倒れた鋼板と背後に置かれていた鋼管の間に挟まれたものの。
7	9	13時台	一 般 機 械 器 具 製 造 業	10 人 以 上 29 人	は さ ま れ、 巻 き 込 ま れ	一 般 動 力 機 械 1 6 9	被災者は、上下開閉式の蓋が設けられた機械設備の修理の作業において、設備の蓋を開く操作を行ったが蓋が開かなかったため、蓋の確認に行ったところ、蓋が開き、蓋とその付近の架設通路との間で被災者が胸部を挟まれたものの。
7	10	11時台	食 料 品 製 造 業	10 人 以 上 29 人	お ぼ れ	環 境 等 7 1 3	被災者は、工場の貯溜池において、池に浮く藻を除去する作業を1人で行っていた者が、当該貯溜池で水に浮かんでいる状態で発見されたものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	11	15時台	その他の製造業	10人未満	激突され	その他の装置、設備 391	被災者は、馬運車のコンテナ部分である馬箱の補修に係る溶接作業に従事し、馬箱を馬運車から切り離し、馬の昇降用ゲートを角材により持ち上げた状態で補修を行ったが、溶接作業を終了後、馬箱内の確認をしていたところ、角材で持ち上げていたゲートが被災者に向かって倒れ、頭部に直撃したもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落、転落	3 7 2 用具	被災者は、高さ約2メートルの箇所の壁に石膏ボードを貼り付けるため、脚立の上から2段目の踏みさんにまたがって、地面に置いた石膏ボードを持ち上げた際、脚立から墜落したもの。
7	1	10時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、 建築物等 4 1 1	被災者は、屋上防水工事のため現場に入場し、外部足場のブラケットに設置した荷の上げ下ろし用電動ウインチを取り外そうとした際、足場の筋かい、下枠等を取り外し、要求性能墜落制止用器具を使用せず作業をしていたため、17.6メートル下の地上部まで墜落したもの。
7	1	15時台	建築工事業	10人以上 29人	崩壊、倒壊	仮設物、 建築物等 4 1 5	被災者は、鉄骨造2階建て建築物の解体工事現場において、屋上部の床を支える鉄骨梁をガス溶断していたところ、当該梁を切りすぎたため折損し、屋上の床部分が落下、2階で作業を行っていた被災者が下敷きとなったもの。
7	2	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、 建築物 4 1 4	被災者は、食料品製造工場の新築工事現場において、天井断熱パネルを屋根骨材から吊った後の吊り具のゆるみの点検作業に従事していたが、天井裏を移動中にブルーシート養生が施された開口部から5.8メートル下の床面まで墜落したもの。
7	2	14時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、移動式クレーンに積もった雪の除雪作業を行っていた際、移動式クレーンの操作レバー上部の除雪のため、移動式クレーンの基部と荷台の鳥居部分の間に足をかけたところ、足を踏み外し、体がアウトリガーと運転席側の荷台壁面の間に挟まったとみられるもの。
7	5	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落、転落	建設機械等 1 4 2	被災者は、一般住宅新築工事現場の外構作業において、既存の擁壁を嵩上げするため、ドラグ・ショベルを運転し当該擁壁の周囲を掘削して付近に堆積させていたが、当該掘削土をドラグ・ショベルで乗り越えようとしたところ脚部が横滑りして斜面から転落し、その際に運転席から投げ出され、斜面の下部においてドラグ・ショベルの下敷きとなったもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	5	13時台	その他の建設業	10人未満	有害物との接触	環境等 7 1 4	排水処理場の汚泥槽（コンクリート槽、縦1m×横0.5m×深さ5.3m）の中にある装置の交換作業をするため、換気等の何らの措置を講じずに入槽した。汚泥槽内部の低部付近で異臭が強くし、脱出しようとしたが意識不明となり、救助後、死亡が確認されたもの。
7	5	8時台	土木工事業	10人以上29人	転倒	建設機械等 1 4 1	被災者は、ブルドーザーを運転して盛土の敷均し作業に従事していたが、ブルドーザーを停止して履帯の上に立ち、姿勢を変えた際、操作レバーに触れてしまったためブルドーザーが前進し、履帯上で転倒して体を打ち付けたもの。
7	7	18時台	土木工事業	10人以上29人	高温・低温の物との接触	環境等 7 1 5	被災者は同僚と共に土場で資材の運搬作業に従事し、午後に資材運搬作業を終え、同僚は土場から離れた。その後当該事業場の幹部職員が土場に訪れた際、倒れている被災者を発見したもの。
7	8	11時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	建設機械等 1 4 4	被災者は、橋梁工事用の作業道の造成のため、乗用のローラーを運転し、砂利道の転圧作業を行っていたところ、路肩からローラーごと転落したもの。
7	8	8時台	土木工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、道路パトロール業務において、トンネルの中央線付近にあった動物の死骸を回収するため、道路パトロール車を停車させて作業を行っていたところ、反対車線を走行していた一般乗用車にひかれたもの。
7	9	10時台	土木工事業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 1 4 1	被災者は、農業用水路工事現場において、用水路を埋設した盛土上で取付道路の舗装のための丁張りの作業に従事していたが、被災者の近傍で当該盛土の法面整形作業を行っていたドラグ・ショベルが被災者に向かって後進し、被災者を轢いたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	11	19時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	動力運搬機 221	被災者は、河川敷にあるパークゴルフ場の維持管理業務において、低気圧の接近に伴う河川の増水に備え、コースの設備を回収する作業に従事し、増水して浸水していた管理道をトラックでバック走行していたところ、道路から逸脱して路肩から川へ転落したものの。
7	11	10時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	動力運搬機 227	被災者は、採石場にて、不整地運搬車を運転して不要土を運搬する作業を行っていたところ、土砂の排出場所付近の法肩から、約100メートル下に不整地運搬車ごと転落したものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	2時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、乗用車による配送業務を行っていたところ、赤信号の交差点に停止していたダンプカーの後方に追突したもの。災害発生当時、路面は濡れていたが、ブレーキ痕は見当たらなかった。
7	3	11時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、セミトレーラをけん引して走行中、路面がアイスバーンのためカーブでスリップして路肩に転落し、キャビンが電柱と接触したもの。
7	6	10時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、大型トレーラーによる運搬業務中、カーブに差し掛かったところ、速度超過のため路外に逸脱して横転し、運転席の外部へ投げ出され、車体の下敷きとなったもの。
7	8	5時台	陸上貨物取扱業	30人以上 49人	飛来、落下	トラック 2 2 1	被災者は、セメント粉が入ったタンクローリーの荷台上で作業を行っていたところ、タンク上部にある鉄製の注入口ハッチの蓋が飛来し、被災者の顔面に直撃したもの。
7	11	15時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	交通事故（道路）	建設機械等 1 4 9	被災者は、貨物トラックを運転して公道を走行中、対向車線走行中のコンクリートポンプ車がブラックアイスバーン状態の凍結路面でスリップして車線をはみ出し、被災者運転の貨物トラックと接触したもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 林業災害における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	10時台	林業	10人未満	激突され	車両系木材伐出機械等	被災者は、チェーンソーと木材グラップル機との共同作業においてチェーンソーによる作業を担当し、被災者が受け口、追い口を作った立木をグラップル機が引き倒し、木寄せしたところ、木材グラップル機又はつかんでいた立木が被災者に激突したものの。
7	1	15時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等	被災者は、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていたが、作業終了時刻になっても戻らず、伐倒木の下で倒れた状態で発見されたもの。
7	2	9時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、チェーンソーによる立木伐倒作業に従事していたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業の補助としてクサビを打つ作業を行っていたが、伐倒中の立木が伐倒方向と逆方向に倒れたことから退避したところ、倒れた立木がすでに伐倒していた木に当たり、退避していた被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業を行っていたが、伐倒木の伐倒方向が想定からずれたことにより、伐倒木が跳ね、被災者に激突したものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	6時台	小売業	30人以上 49人	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は新聞配達作業に従事する労働者で、顧客宅付近にて乗用車から降りていたところ、坂の上から走行してきたタイヤショベルが路面凍結によりスリップし、停車しきれず被災者の乗用車に追突し、これに押される形で被災者が当該乗用車に轢かれ下敷きになり、さらに同方向からやってきた別の乗用車が被災者の乗用車に追突したため、下敷きになったまま2mほど引きずられ死亡したもの。
7	1	13時台	その他の事業	30人以上 49人	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者は、同僚とともに高さ5.7mの屋根の上にて、墜落防止措置を講じず、スコップを使用して雪下ろし作業をしていたところ、屋根に堆積していた雪が滑り落ちたことで、背部から雪がなだれ込み、足をとられ、屋根の端から墜落したもの。被災者は2名、うち1名が死亡した。
7	1	15時台	その他の事業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 231	被災者は、社用車で出張先から所属事業場に戻る際に高速道路を走行中、インターチェンジ付近でクッションドラムに衝突したもの。
7	1	14時台	通信業	300人以上	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。
7	2	8時台	警備業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 372	被災者は、廊下の電球の取替作業のため脚立を使用していたところ、脚立の上から転落し、額を床にぶつけたもの。
7	3	13時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 162	被災者は、金属くず及び産業廃棄物の破砕処理を行うプラント内の風力選別機から異物を除去する作業中、風力選別機の回転部に、右腕と頭部が巻き込まれたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	2	13時台	清掃・と畜業	10人未満	墜落、転落	372 用具	被災者は、蛍光灯の交換のために高さ1.5メートルの脚立を使用していたところ、脚立上でバランスを崩し墜落したものの。ヘルメットは未着用であった。
7	3	9時台	その他の事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	229 動力運搬機	被災者は、他の作業員とともに立体駐車場の定期点検を行っていたが、上階に移動するために搬器に乗り込み、別の作業員が操作盤で搬器を動かしたところ、搬器の外枠の支柱とガイドレールに被災者の頭部が挟まれたものの。
7	1	5時台	小売業	50人以上99人	交通事故（道路）	231 乗物	被災者は、新聞配達業務中、他者が運転する自家用車の後部座席に乗り道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップし、道路脇の電柱に激突したものの。
7	6	13時台	清掃・と畜業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	121 動力伝導機構	被災者は、観覧車の点検台の上で、観覧車を運転した状態で、動力を受ける内輪に注油作業をしていたところ、動力を伝達する歯車と内輪との間に挟まれたものの。
7	6	13時台	小売業	10人以上29人	はさまれ、巻き込まれ	239 乗物	被災者は、顧客自宅前の坂道に車を停めた後、車両から離れたところ、当該車が逸走し始めたため、とっさに車両を止めようと車両の進行方向の前方にまわったが停止させることができず、ガードレールと車に下腹部を挟まれたものの。
7	7	2時台	小売業	10人以上29人	その他	719 環境等	被災者は、自転車で住宅街の新聞配達中、熊に襲われたものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	8	14時台	卸売業	10人未満	飛来、落下	動力運搬機 2 2 2	被災者は、フォークリフトのフォーク部に小型のドラグ・ショベルを乗せて持ち上げた状態にした後、ドラグ・ショベルの下に潜り込んで作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルがフォーク部から滑り落ち、被災者に当たったもの。
7	9	18時台	港湾運送業	30人以上49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 2	被災者は、荷捌き場において、伝票をトラック運転手に渡す業務を行っていたところ、後進してきたフォークリフトに轢かれたもの。
7	10	22時台	道路旅客運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、タクシーの運転業務中、交差点を直進していたところ、交差点に進入してきた乗用車に側面から衝突されたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

死亡労働災害の概要(令和7年11月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	11	19時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	動力運搬機 221	被災者は、河川敷にあるパークゴルフ場の維持管理業務において、低気圧の接近に伴う河川の増水に備え、コースの設備を回収する作業に従事し、増水して浸水していた管理道をトラックでバック走行していたところ、道路から逸脱して路肩から川へ転落したものの。
7	11	15時台	その他の製造業	10人未満	激突され	その他の装置、設備 391	被災者は、馬運車のコンテナ部分である馬箱の補修に係る溶接作業に従事し、馬箱を馬運車から切り離し、馬の昇降用ゲートを角材により持ち上げた状態で補修を行ったが、溶接作業を終了後、馬箱内の確認をしていたところ、角材で持ち上げていたゲートが被災者に向かって倒れ、頭部に直撃したものの。
7	11	10時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	動力運搬機 227	被災者は、採石場にて、不整地運搬車を運転して不要土を運搬する作業を行っていたところ、土砂の排出場所付近の法肩から、約100メートル下に不整地運搬車ごと転落したものの。
7	11	15時台	道路貨物運送業	50人以上99人	交通事故（道路）	建設機械等 149	被災者は、貨物トラックを運転して公道を走行中、対向車線走行中のコンクリートポンプ車がブラックアイスバーン状態の凍結路面でスリップして車線をはみ出し、被災者運転の貨物トラックと接触したものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。